

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学
八基小	大きく上回った	やや下回った
埼玉県	69	64
全国	67.7	63.4

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位%)

	質問事項	八基小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	94.7	94.4	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	84.2	84.5	82.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	89.5	92.3	91.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	94.7	83.3	80.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	73.6	58.5	54.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	68.5	50.8	48.6
	放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごすことが多い	63.2	50.2	49.3
教科への関心	国語の勉強は好きだ	42.1	63	62
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.7	94	93.2
	算数・数学の勉強は好きだ	79	60.4	61
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	94.8	94.1
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	84.2	85.4	81.9
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	73.7	73.3	67.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	84.2	84	79.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	89.4	88.9	86.3
その他	自分には、よいところがあると思う	78.9	85.9	84.1
	将来の夢や目標をもっている	89.5	83.6	82.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	89.5	96.2	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	5.3	3.3	4.4

【質問紙分析】

- ・ 学習習慣の各項目の割合が高いのは、これまでの学習の積み重ねによる学びの土台ができていたためだと考えられる。
- ・ 「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が高いのは、本校のふるさと教育の充実が図られているためと考えられる。
- ・ 国語科の正答率は全国と埼玉県を上回っているが、「国語の勉強は好きだ」の割合が低いのは「読む・書く・話す」などの活動に対する困難感を抱いていることが要因であるためと考えられる。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○2三イ

文章におけるひらがなを、漢字を使って書き直す問題はよくできている。

○3四

読み取りから最も適切なものを選択する問題はよくできている。

上記の2つがよくできているのは、読書やドリルによる反復練習、新聞づくりなどに取り組んでいたため、よくできていると考えられる。

●2ー(2)

文章を読み取り、自分の考えを書き表すことがほとんどできていない。このことから、

- ①示された情報を読み取ること
 - ②複数の条件を理解し、その中で答案すること
- などが苦手な児童が多いのではないかと考えられる。

●1ー

紹介文の内容をメモにどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択することがあまりできていない。目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討し適切に選択することが苦手な児童が多いのではないかと考えられる。

【算数・数学】

○2(1)イ

2つの式を比べて一方の式をもとに、もう一方の式が何倍になっているか求める問題はよくできている。

○3(3)

ボールの直径をもとに、箱の一辺の長さを求め、そこから箱の体積を求める式を立てることはよくできている。

●4(2)

3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書くことがあまりできていない。このことから、

- ①文章から立式して、適切な数を求めること
 - ②道のりと時間の関係について考察すること
- などができていない理由として考えられる。

●5(4)

示された桜の開花予定日を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書くことができない児童が多い。このことから、

- ①必要な情報を読み取って式に表すこと

②式から適切な計算処理をして答えを求めること
などが、できていない理由として考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・ 学びポケットにおける問題やコバトン問題、ドリルパークに取り組むようにする。
- ・ 授業のふり返りや新聞ワークシート、視写、聴写、要約など、書く活動を授業の中で工夫して取り入れるようにする。
- ・ 国語科に限らず、算数、理科、社会などでも学んだことを文章に表現する活動を教科横断的な視点で、意図的に取り入れる。
- ・ 根拠や理由まで伝える話合い活動を取り入れた授業を行う。
- ・ 深谷市全体で取り組んでいる学力向上プロジェクトに取り組み、正答率の低い問題について、解説等してから2回目を実施し、学習の成果を見届けるようにする。

【算数・数学】

- ・ 体積や面積、直径などの言葉の意味を改めて確認する場を設け、用語について理解させる。
- ・ 学習したことの定着や補充には、コバトン問題や過去の問題、ミライシードアプリ、学びポケットの問題等に取り組むようにする。
- ・ 深谷市全体で取り組んでいる学力向上プロジェクトに取り組み、正答率の低い問題について、解説等してから2回目を実施し、学習の成果を見届けるようにする。
- ・ 個別で考える活動を確保し、表現させる時間を確保するとともに、友達と協働する学習を多く取り入れ、多面的な見方や考え方を共有できるようにする。
- ・ 面積の問題に関しては、なぜそのような式になるのか、答えが合っても図を用いて説明するなど、改めて考えるようにする。

【その他】

- ・ 読書活動を日頃から取り入れ、習慣化させていく。
- ・ 様々な教科や活動の中で、自分の考えをまとめたり、発信したりする機会を設けるようにする。
- ・ 個人面談や懇談会等で、授業の様子や学力調査の分析結果を報告し、子供達の力が伸ばせるよう、学校と家庭で連携して取り組んでいくようにする。